

*:新型コロナウイルス感染症の影響で例年通りの活動ができなかったものを言む。

上段:評価(1~5)の平均値
下段:肯定的評価の割合(%)

重点目標	分野・学年会	各部・学年会の重点目標	内容	教員評価	保護者評価	生徒評価	概評(・)と改善策(◆)	学校評議員・学校関係者評価委員意見	肯定的評価の割合(%)	評価		
1	学力的向上	教務部	授業指導の改善工夫	*考える授業、自分の考えを表現する授業、互いに学び合う授業の展開	2.1 64%	2.1 61%	1.8 72%	◆電子黒板を教員が積極的に活用し、授業改善(分かりやすく興味深い授業)につながった。 ◆教科書を早く進めるクラスでは、国立大学受験を見据えた授業を1年次から意識する。	◆学校評議員会の運営 ○資料提示 ・肯定的評価や数値目標の例示等により例年よりもわかりやすくなった。	66%	B	
		国際文化観光科	体験的な学習をおとした学習者の育成	*海外研修やインターンシップの充実	/	/	/	/	◆評価できる取組 ○感染予防 ・教職員が各教室の消毒作業を継続して行っている。	/	/	
		1年学年会	学習習慣の確立と基礎学力の養成	家庭学習の習慣化と授業に集中する学習態度の育成	1.9 66%	2.0 77%	1.7 81%	◆家庭学習や課題提出の定着が不十分であった。 ◆授業への取り組みは概ね良好であった。 ◆家庭学習が習慣化するよう課題の出し方を工夫する。 ◆教科担当と担任の連携を密に、協力して提出物の徹底を図る。	◆意見・感想 ○服装髪型指導 ・異装(スカートの下にズボンの着用等)は違和感がある。	75%	A	
		2年学年会	基礎学力の向上と定着	授業・試験のための予習・復習と週末課題等の確実な提出	2.7 23%	2.1 71%	1.9 69%	◆平日の学習時間が1日平均30分もあつた。 ◆提出物の徹底も進んだ。 ◆宿題、学習復習等家庭学習に時間をかける仕掛けを行う。 ◆課題の提出は、粘り強く指導を継続する。	○学校行事 ・コロナ禍で地域行事がない最中、ロードレースで力走する生徒の姿を見て街が華やかになったように感じた。 ○通学 ・自転車マナーについて苦情を聞かなくなった。	54%	C	
		3年学年会	進路目標の達成と進路保障	主体的な学習活動への支援	2.8 40%	1.8 73%	1.6 78%	◆進路決定後に学習意欲が低下する傾向にある。 ◆主体的に学ぶ意欲を育てる。 ◆学習の意味や価値を指導する機会を確保する。 ◆学びのあり方を新しい生活様式に落とし込む。	◆要望 ○情報発信 ・スマートフォンに対応したホームページで積極的に情報発信を行う。 ・休校期間は情報発信を行うチャンスと考え、ホームページに各部署からの記事を積極的に掲載する。 ○保護者あて文書 ・確実に保護者に届くように工夫する(学年ごとに色の異なる用紙の利用を継続する)。 ○授業改善 ・授業の開始時にわらいや手順の明示を徹底する。 ・授業に集中できるような環境づくり(机上の整理等)を行う。 ・1人1台のタブレットを有効活用する。	64%	B	
2	キャリア教育の充実	キャリア教育部	一人一人の特性と希望を生かした進路の実現	*キャリア教育の実践 進路実現に必要な学力・スキルの向上	2.1 64%	1.8 74%	1.6 77%	◆オンラインを活用し「夢だんだんプロジェクト」行事をほぼ予定通り実施した。 ◆「まっつえ学」と連携し「夢だんだんプロジェクト」の内容を検討する。 ◆キャリア通信の内容および発行時期を検討する。 ◆総合的な探究の時間の評価表を生徒に周知する。	○学校行事 ・コロナ禍で地域行事がない最中、ロードレースで力走する生徒の姿を見て街が華やかになったように感じた。 ○通学 ・自転車マナーについて苦情を聞かなくなった。	72%	B	
		ヒューマンライツ部	読書習慣の確立	各種通信や移動図書館等による読書案内	2.0 72%	2.2 57%	2.3 50%	◆図書委員会発行「図書館だより」と司書発行「金の壺」を計画通り発行した。 ◆移動図書館は、本を入れ替えが少なかった。 ◆移動図書館の本の入れ替えを頻りに行う。 ◆生徒が図書館に来館する機会を増やす工夫が必要である。	○清掃指導 ・授業同様に教職員間で指導を統一する。	60%	B	
		保健部	健康管理の意識と能力の育成	生徒の健康状況の把握と教職員の生徒理解の促進	1.7 89%	1.7 88%	1.6 82%	◆コロナ対応を最優先し、職員会議や教科担当者会等で情報を共有した。 ◆担任、学年会、SCと連携を密にして生徒理解に取り組んだ。 ◆「気づきシート」の活用方法を再考する。 ◆学年会等既存の組織との情報共有を制度化する。	○奨学金 ・保護者目線にたち、わかりやすい説明を行う。 ○国際文化観光科の活動 ・特色ある女子高らしい教育活動を行う。	86%	A	
		1年学年部	諸活動への積極的参加	部活動、生徒会活動、ボランティア活動、及び学校行事等への積極的な参加	1.8 63%	1.8 84%	1.6 85%	◆多くの生徒が諸活動に意欲的に取り組んでいる。 ◆部活動未加入者に、何らかの活動に参加するよう促す。 ◆ボランティア活動に代わる活動を検討する。	○面談や声がけ ・話をしたい、聞いてもらいたいと思っている生徒の気持ちに応える。	77%	A	
		2年学年部	進路志望の具体化	具体的な進路選択への支援と生徒面談、保護者面談及び進路検討会の実施	1.8 60%	1.7 88%	1.6 83%	◆「総合的な探究の時間」の行事や個人面談等を通じ、個々の進路志望を把握し、その結果を進路検討会に反映した。 ◆個別の進路指導を継続する。 ◆進路未定者への対応に努める。	◆提案 ○情報発信 ・教職員だけでなく生徒もホームページに掲載する記事を作成して情報発信に加わる。	77%	A	
		3年学年部	学校生活の充実	部活動、生徒会活動、(ボランティア活動)、及び学校行事等への積極的な参加	1.8 69%	1.8 87%	1.6 82%	◆コロナ禍にありながら知恵をばらけ、工夫を凝らして学園祭を成功させた。 ◆来年度は今年の3年生のような辛い思いをしない1年間になることを切に願う。	○読書指導 ・図書館に来館するきっかけとして朝読書を導入する。	79%	A	
				個に応じた進路保障	1.9 66%	1.8 82%	1.6 78%	◆小論文や面接等の手厚い指導により、進路実現は概ね達成した。 ◆女子高独自の進路指導をマニュアル化し、中学校側に周知すると良い。		75%	A	
		総務部	広報活動の推進	積極的な情報提供及びホームページの充実	1.7 77%	1.9 77%	2.0 53%	◆来年度からスマートフォン対応の予定。 ◆今まで以上に積極的な情報提供を行う。		69%	B	
				PTA活動	*保護者の積極的な参加を促す	/	/	/	/		/	/
		3	ホスピタリティ精神とコミュニケーション力の向上	生徒部	基本的な生活習慣の定着	各種の生徒指導の実践	2.8 34%	1.9 83%	1.5 86%	◆生徒による自己評価では二極化(定着の有無)が見られる。 ◆自分に甘い評価が多いと思われる。 ◆朝の遅刻をしない、授業開始に遅れない等時間を守ることをまず重点的に指導する。 ◆校内外での活動場面を設定し、自己啓発を促し成長を支援する。 ◆教職員間の指導観を統一して取り組む。		68%
	自主的に活動する態度の育成			*ボランティア精神の醸成	2.9 26%	2.0 63%	2.1 56%	◆コロナ禍でのボランティア精神の醸成の仕方を検討する。		48%	C	
	情報モラル教育、部活動、生徒会活動への参加			情報モラル教育、部活動、生徒会活動への参加	2.2 66%	1.9 82%	1.6 80%	◆情報モラル講座を実施し、被害の現状や対応等を学んだ。 ◆部活動参加率約80%を維持。 ◆リモートによる生徒会サミット(全国23校)に参加し、新たな交流方法を得た。 ◆様々な活動を地域に発信し、地域とともに取り組む体制を構築し支援する。		76%	A	
ヒューマンライツ部	人権教育の計画的・組織的な取り組み			人権教育の実践	1.9 74%	2.0 63%	1.7 76%	◆リモートによる全校一斉講演会を実施。 ◆対面型とは異なり、話す側も聞く側も苦慮する面もあったが成果もあつた。 ◆リモートによる講演会は、学年別に実施等工夫する。		71%	B	
	各種奨学金の紹介			各種奨学金の紹介	1.5 86%	1.9 70%	1.8 60%	◆各種奨学金の周知と手続きは、新型コロナウイルス対応で例年と異なる点もあつたが、遅滞なく確実に進めた。 ◆必要な生徒に確実に情報が届くようにHPやメール等も活用する。		72%	B	
保健部	環境整備と美化			清掃の充実と生活環境の美化・整備活動	2.2 69%	2.1 65%	1.8 76%	◆清掃、環境美化・消毒は役割を分担して行った。 ◆放課後の教室等のアルコール消毒を徹底した。 ◆ごみの分別等年度当初に確認し、指導観を統一して取り組む。 ◆清掃時には保健部員による巡回指導も計画し、トイレを重点的に取り組む。		70%	B	
	生徒保健委員会の活動支援・感染予防			*保健委員会の活動支援、「保健だより」の発行・製作の助言、感染予防	1.4 89%	1.9 81%	1.6 81%	◆コロナ感染予防の啓発を各学年で実施した。 ◆「保健だより」は配布だけでなく保健委員が読み上げる。また、ホームページにも掲載する。 ◆定期的に保健委員による清掃活動や美化活動を実施する。		84%	A	
国際文化観光科	郷土の良さの理解と発信			*地域文化を理解する学習活動の展開・ホスピタリティ精神とコミュニケーション力の育成	1.8 74%	1.6 83%	1.6 73%	◆1年生は「郷土理解」を通して意欲的に学習に取り組んだ。 ◆観光科の活動は校内で完結することが多く周知されていない。 ◆ホームページ掲載、掲示物の作成、外部との連携等を通して活動内容を内外に発信する。		77%	A	
1年学年部	基本的な生活習慣の確立			校則の遵守と生活リズムの確立	1.9 69%	1.8 84%	1.4 85%	◆注意すれば反省して改善する素直さが見られた。 ◆生活リズムも確立している。 ◆校則遵守は全教員で厳しく指導する。 ◆保護者と連携し、生活リズムが崩れないよう指導する。		79%	A	
2年学年部	基本的な生活習慣の育成			校則の遵守とあいさつと掃除の徹底	2.8 23%	2.0 73%	1.6 79%	◆頭髪服装指導や挨拶等の指導が十分ではなかった。 ◆学年会独自で頭髪服装指導の実施を検討する。		58%	C	
3年学年部	ホスピタリティ精神とコミュニケーション能力の育成	基本的な生活習慣の確立と人権感覚の向上	2.8 31%	1.9 82%	1.7 79%	◆頭髪服装指導が十分ではなかった。 ◆多様性に対する許容範囲を考える必要がある。		64%	B			
総合評価				2.1 60%	1.9 76%	1.7 75%			70%	B		

【教員・生徒・保護者の評価】
1・・・できた・良かった
2・・・ほぼできた・ほぼ良かった
3・・・あまりできなかった・あまり良くなかった
4・・・できなかった・良くなかった
5・・・わからない・答えられない

【総合評価】 A・・・良い(75%～) B・・・概ね良い(60%～74%) C・・・あまり良くない(40%～59%) D・・・良くない(～39%)